

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年1月30日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 各務原高等学校 会議室
- 4 参加者 委員 長倉 守 岐阜大学大学院教育学研究科准教授  
奥村 篤 各務原市立中央中学校長  
小川 陽子 新生こどもえん園長  
古田 希雄 各務原市 市長公室 まちづくり推進課 課長  
堀 善子 各務原市 市民生活部 税務課 主幹兼税制係長  
上河原 朋子 本校PTA副会長

学校側	細井 恒樹	校長
	堀 卓也	教頭
	金森 香織	教頭
	武藤 小百合	事務長
	美濃輪 智彦	教務主任
	橋本 純	生徒指導主事
	水野 里美	進路指導主事
	小野木 隆	特別活動部長
	片桐 豊	渉外部長
	北原 剛	研修主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度の本校教育活動の振り返り

- ① 令和5年度 学校運営協議会の開催状況
- ② 令和5年度の主な行事
- ③ 各担当部署等からの報告

(2) 令和5年度 自己評価・報告及び関係者評価

- ① 教務部
- ② 生徒指導部
- ③ 進路指導部
- ④ 特別活動部
- ⑤ 保健厚生部
- ⑥ 図書情報部
- ⑦ 渉外部
- ⑧ 教育相談部

①教務部について

意見1

- ・グラデュエーション・ポリシーを基礎として、カリキュラムやICTを活用した教育に重点を置いて様々なことが計画され、改善まで行われているのはすばらしい。

## 意見2

- ・コース登録の話があったが、カリキュラムについて何か工夫しているか。  
⇒選択科目を軸にコースの特性を考えているが、現実にはすべての選択科目を実施することは不可能であるため、大学入試の状況や職員の状況などを考えて、カリキュラムを組んでいる。

## 意見3

- ・ICTを活用した取り組みの際には、クラウド環境の中にいろいろなものを上げておいて活用する方法もあると思われるが、学校ではどのようなクラウド環境があるのか。  
⇒学校独自のクラウドというようなものはない。県が契約しているシステムである MetaMojji ClassRoom や manaba といったものを活用しつつ取り組んでいる。また、Forms や Teams といったものも活用している。オーストラリアのケンモア高校に本校生徒が行った際には、スマートフォンを用いて現地と本校で情報のやり取りをしたり、英語の指導をしたりした。また、タブレット端末については、家に持ち帰ることも認めている。

## 意見4

- ・ICT環境の整備や活用は一校だけで進めていくのは難しい。学習活動の中での現在のシステムの活用の工夫に加えて、県全体のクラウド環境が整備されることが大切である。

## 意見5

- ・授業アンケートの結果から、先生方の努力が成果を上げていると感じる。生徒に家で学習する習慣が身に付いていけば、さらに成果が上がる可能性がある。

## ②生徒指導部について

### 意見1

- ・報告書を読むと、懸命に生徒と向き合って活動していることがわかる。大変なことだと思う。

### 意見2

- ・グラデュエーション・ポリシーの中にある「自己を律する」「自らや他者をかけがえのない存在として認識」ということを軸にして活動を計画して進めていくとよい。

### 意見3

- ・遅刻者が多いということが課題として挙げられていたが、同じ人がたくさん遅刻をするのか、全体に多いということなのか。  
⇒特定の生徒が多い部分はある。また、雨の日や雪の日には保護者が送迎してくるため、渋滞で遅刻になることも多い。また、生活のサイクルが原因となっている場合もある。保護者も含めて、状況を見える化して伝えることで少しでも遅刻を減らそうとしている。

### 意見4

- ・遅れてくる生徒は中学校でも特定される。生活習慣はなかなか改善が難しい。見える化という話があったが、状況を保護者が気づいていない場合もあり、高校から情報を提供して遅刻していることを意識化させないといけない。大変だと思うが、今後も、回数を意識させる工夫や家庭との連携を続けてほしい。

### 意見5

- ・各務原市消費生活相談室では、若い人向けに消費生活講話を行っている。若年の成人の方の SNS トラブルが、18歳成人になってから増加している。トラブルを防止するためにも、活用していただけるとよい。

## ③進路指導部について

### 意見1

- ・様々な進路希望があり、その実現に向けて、インターンシップなど学校としても様々な取組を行ってよく努力していることがわかった。

#### 意見2

- ・今後の入試や就職試験では自分で表現する力が今後はより一層大切になる。自分の考えをきちんと文章で表現するためには、知識と経験が必要になる。多様な経験を積ませて、うまくつなげていくことができるとよい。

#### 意見3

- ・適切な時期に適切な行事が行われることが大切である。よく考えて行事が組まれている。

### ④特別活動部について

#### 意見1

- ・生徒の数が減っているため、部活動は苦勞されていると聞く。生徒数の減少は部の成績の低下にもつながりやすい。難しい点がいろいろとあると思うが頑張ってもらいたい。

#### 意見2

- ・集団が力を発揮するためには目標を共有することが大切である。OneTeamとしての哲学がストロングポイントになる。グラデュエーション・ポリシーがそれにあたると思う。グラデュエーション・ポリシーの中にある「創造性」や「自らや他者をかけがえのない存在として認識する」「挑戦」等は特別活動部の目標にふさわしい内容ではないか。その観点で活動内容を見直していただくとよい。

### ⑤保健厚生部について

#### 意見1

- ・災害は必ず来るという前提で対応を計画しておくことはとても重要である。共助・公助ということも大切だが、自助ということが基本にあって、共助・公助も生きてくる。

#### 意見2

- ・生徒は学校で過ごす時間が長い。非常時の対応について訓練を行い、改善すべきことがあればやり方を変えて見るなどの工夫をすることは重要である。PDCAサイクルの中で、生徒の防災意識を高めていくように取り組んでほしい。

### ⑥図書情報部について

#### 意見1

- ・読書についての生徒の興味関心の低さは悩ましいが、特効薬のない難しい問題である。

#### 意見2

- ・漫画を入れてほしいという声がアンケートにも多く見られているが、日本の漫画には優れたものもある。内容的に難しいことをかみ砕いて書かれているものもあり、うまく活用していくことも読書へとつながる対策の一つではないか。

### ⑦渉外部について

#### 意見1

- ・同窓会は学校とどのような関係にある組織なのか。  
⇒同窓会は、本校の卒業生で構成されている会である。本校に関係のある組織であるが、活動自体は本校から独立している。

#### 意見2

- ・同窓会について何か依頼したいこと、心配していることはあるか。  
⇒役員の年齢が上がっており、若返りをしていく必要があるのではないかとと思うが、学校とは別の組織であり、同窓会入会式の際に会長の方とお話できればと考えている。  
・心配されていることはわかる。

## ⑧教育相談部について

### 意見1

- ・調査の結果をきちんと分析して生徒の特性をつかんでいる。高校に限らず、中学校でも不登校は増えており、集団の中に入ることがつらいという生徒が増えている。その深層の部分に何かあるのかは不明確だが、高校としてはどのように対応しているか。

⇒クラス内のグループワークや総合的な探究の時間等に集団で何かをすることがプレッシャーとなって授業に出られないという生徒はいる。急にそうなったというよりは、以前からプレッシャーを感じていたという生徒が多い。個々の生徒の状況をよく聞き、状況に応じて対応をしている。必要ならば保護者の方にも来ていただいて相談しつつ対応している。

### 意見2

- ・集団が苦手だという生徒と発達障がいのある生徒には一定の関係性があるのではないか。  
⇒学校では医学的な判断はできないが、診断を受けていただくとも見えてくることもある。ただし、受診は本人と保護者の意思によることである。

## ⑨全体として

### 意見1

- ・学校もそうだが、組織は相互整理機能が求められる。各分掌のお話を聞いたが、横断的な話し合いや取組も必要になってくると考えられる。学校としては何か考えているか。

⇒2月に反省職員会議を予定している。職員から、問題だと感じたことを上げてもらい、問題意識を共有し、どのように対策や対応をしていくとよいか意見を交換していく。

## (2) 各務原高校の地域課題探究型学習（ふるさと教育）についての令和5年度自己評価・報告及び関係者評価

### 意見1

- ・こうした活動は中学校、中学生に対する各務原高校のアピールとなる。

### 意見2

- ・ふるさと教育はすばらしい。自己評価がすべてBとなっているが、いろいろと尽力されているので、自己評価でAをつけてもよい項目があるのではないか。

### 意見3

- ・新型コロナウイルスの扱いが変わり、できることが増えてきた。いろいろな人とのつながりの中で、通常の学習で得られないことを学んでほしい。

### 意見2

- ・自分の高校生の時のイメージと比べて、体験を通して学ぶ機会が増えていると感じた。

### 意見3

- ・コロナ禍によるコミュニケーション力の影響は幼少期からある。コミュニケーションが苦手な人は、コミュニケーションを取りながら学んでいくようになってくると、プレッシャーがかかってくる。そうした状況を踏まえて表現力を高めていこうとする、ふるさと教育はすばらしい。

### 意見4

- ・スクール・ポリシーには総合的な探究の時間の活動と密接にかかわる部分がある。今後もスクール・ポリシーを軸にして教育活動を実施し、生徒を成長させてもらいたい。